

動物実験に関する現況（平成 23 年度）調査票

東京理科大学

平成 24 年 12 月

I. 動物実験に関する組織

機関長	学長 藤嶋 昭		
事務担当者	管財課 環境安全管理室野田分室 係長 中尾拓史		
同 連絡先	TEL 04-7124-1501 内線 2185	FAX 04-7122-1527	e-mail bio@admin.tus.ac.jp
動物実験委員会 委員長	理工学部 応用生物科学科 教授 新井孝夫		
同 委員	理学部第一部 教養学科 教授 太田宏平		
同 委員	理工学部 教養 教授 川村 清		
同 委員	薬学部 薬学科 教授 小島周二		
同 委員	理工学部 教養 准教授 鈴木智順		
同 委員	基礎工学部 生物工学科 教授 田代文夫		
同 委員	生命科学研究所 助教 小川修平		
同 委員	基礎工学部 生物工学科 教授 三浦成敏		
同 委員	生命科学研究所 教授 後飯塚僚		
同 委員	薬学部 薬学科 教授 廣田孝司 ※H23.12.31 まで		
同 委員	薬学部 生命創薬科学科 教授 深井文雄 ※H24.1.1 より		
同 委員	基礎工学部 生物工学科 准教授 齋藤正寛		
同 委員	生命科学研究所 教授 安部 良		

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- 医歯薬学分野 畜産・獣医学分野
 生物科学分野 理工学分野
 その他 ()

2. 年度ごとに使用した実験動物の種類と匹数

動物種	匹数					
	H23 年度	H22 年度	H21 年度	H20 年度	※ H19 年度	※ H18 年度
ラット	3,018	2,734	4,488	1,362	2,378	2,225
マウス	33,638	39,692	23,906	9,095	11,129	10,649
モルモット	5	17	12	5	11	14
ハムスター	12	12	4	0	135	81
ウサギ	8	8	12	0	0	0

※ 野田共同動物飼育施設においては、H19 年度以前は匹数をカウントしていないため、薬学部動物舎と生命科学研究所動物実験施設との合計引数を記載。

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験 計画数	H23 年度	H22 年度	H21 年度	H20 年度	H19 年度	H18 年度	H17 年度
	162 件	170 件	160 件	146 件	144 件	141 件	141 件

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	H23 年度	H22 年度	H21 年度	H20 年度
	572 人	467 人	421 人	412 人

※ H19 年度以前は施設別に実施

5. 実験動物飼養保管施設の現況

施設の名称	施設管理責任者の 職・氏名	実験動物管理者の 職・氏名	動物種 (最大飼養頭数)	
			野田共同 動物飼育施設	准教授 齋藤正寛 (経験年数：20 年) (関連資格：なし)
			モルモット	20
			ウサギ	24
薬学部動物舎	H23.12.31 まで 教授 廣田孝司 (経験年数：30 年) (関連資格：なし) H24.1.1 より 教授 深井文雄 (経験年数：30 年) (関連資格：なし)	H23.12.31 まで 教授 廣田孝司 H24.1.1 より 助教 伊豫田拓也	マウス・ラット	6000
			モルモット	120
			ウサギ	30
生命科学研究所 動物実験施設	教授 安部 良 (経験年数：35 年) (関連資格：なし)	助教 小川修平	マウス	8000

6. 特記事項

本機関には、II-5 に記載した野田共同動物飼育施設、薬学部動物舎、生命科学研究所動物実験施設という3つの実験動物飼養保管施設が、同一のキャンパス内に存在する。各施設の主たる利用者（教員・学生）の所属する学部等が異なる他に、生命科学研究所動物実験施設はマウスの SPF 環境下での飼育に特化している一方、野田共同動物飼育施設はできるだけ多くの動物種の飼育を可能としている。薬学部動物施設は主に薬学部内で使用する動物（但し RI 投与動物等は生命科学研究所動物実験施設で使用）を飼育している。動物種もマウス、ラットの他、モルモット、ウサギの飼育も可能である。また、飼育環境としてコンベンショナルと SPF を選択でき、施設内に小規模な実験室も設けてある。動物施設は、施設ごとの使用規則を定め施設管理責任者（動物実験委員会委員である）と施設運営委員会を置き、動物飼育等に関するものの他、動物実験の実施状況を把握し、実験実施者に適切な指導・助言を行っている。

動物実験計画を審査する動物実験委員会は、全学統一委員会として設置・運営されている。